

2011年11月21日

## 袖ヶ浦市 市長 出口 清 様

袖ヶ浦市 子供たちと未来の会  
袖ヶ浦市民が望む政策研究会

袖ヶ浦市の 学校給食の放射線測定  
袖ヶ浦市 市内全域の詳細な汚染マップの作成  
袖ヶ浦市の 一般市民への 放射線測定器貸出しを求める申し入れ

福島第一原発事故に由来する  
放射能汚染による 子供たちへの影響を心配する声が多くあがっています。

文部科学省の発表した ヘリコプターによる汚染地図を見ると判るように  
袖ヶ浦市の海沿いから 蔵波地区周辺まで はっきりと色が変わっています。  
ニュース等で報道されている 千葉県北部と同等の状態であり  
ホットスポットと言っても過言ではありません。  
大変 危険な状況です。※別紙参照

事故以来 子供たちは 平常時の数倍の 放射線量を毎日浴びています。  
砂埃や食品からも 放射性物質を体内に取り入れ 体内被曝しています。  
子供は 細胞分裂が激しい為 大人とは比べものにならないぐらい  
放射線の影響を受けます。

環境省は 空間線量  $0.23\mu\text{sv/h}$  以上の場所を 除染区域としております。  
7月に袖ヶ浦市が測定した学校の中で  $0.238\mu\text{sv/h}$  の所がありました。  
現在は 数値が低い様ですが 放射性物質が消えた訳ではありません。  
校庭の中心1箇所の測定では 意味がありません。  
早急な学校・近隣の徹底調査・除染が必要だと考えます。

また 内部被ばくについては 食品が大きな被ばく要素に繋がります。

市内スーパーに行きましても

関東圏の産地の野菜が山のように残っております。

また 汚泥埋立により 水道水を心配し 海外製の水を購入する家庭も少なくありません。

各家庭での精神的不安・家計の負担は大きく

これらの問題は 袖ヶ浦市の税収へ 影響しかねないと思います。

また 袖ヶ浦市学校給食には 福島県産の野菜が使われていたり

高濃度のセシウムが検出される キノコ類なども使われております。

君津市では しいたけが出荷制限になるなど 身近な情報があり

一部の子供たちからも 給食を食べることが怖い。

牛乳や こうした不安食材を 残していると 聞きました。

学校教育課に 問い合わせましたが 事実を知らなかった様子です。

また 学校長とも お話しさせて頂きましたが

安全かどうか重要だが 子供たちや お母さん達の不安になる様な

食材は問題があると思う。学校からも 訴えて行きたい。と回答頂きました。

現在 様々な市町村で 給食の検査が 実施されております。

## Ⅰ 日でも早い 市内の綿密な放射線量の測定

市民の不安の解消・学校給食の徹底した検査等をお願い致します。

以下を提案致します。

### Ⅰ 東京大学 大学院理学系研究科 教授 早野龍吾氏が

11月9日に 森文科副大臣に提出 MEXT 担当者に説明済みの

「給食丸ごとセシウム検査」神奈川県横須賀市などが採用※別紙参照

こちらは事後測定になりますので問題があり

こちらを応用して 事前に測定することはできないでしょうか？

給食の安全監視においては優れているように思えます。

どれだけ子供たちが放射性物質を取り込んだか解ります。

## 2 放射線簡易測定器と放射能簡易測定キットを使用した

### 給食食材の放射能簡易測定

食材ごとの数値が判りますので汚染数値の高い食材が判別でき

除去することが可能となります。また市 **HP** など公開することにより

市民の食の目安にもなります

神奈川県鎌倉市などが採用 ※別紙参照

[http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kyusyoku/kyushoku\\_kani\\_sokutei.html](http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kyusyoku/kyushoku_kani_sokutei.html)

上記などの方法があります。

必ず 全食材もしくは **1** 食分をミキサーにかけ 測定することが必要です。

測定器については 定量下限値の低い

**1** ベクレル/kgの精密なものでなくては 意味がありません。

神奈川県や 長野県では 市長の強い意向のもと

こうした 測定が 取り入れられています。

## 3 市内に市民が使える食品の放射性物質の測定器の設置

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/shouhi/data09307.shtml>

神奈川県鎌倉市・藤沢市が採用

給食センターへの設置・情報の開示

また市内数か所に 市民が自由に使える測定器の設置をお願い致します。

放射性物質とは 長い付き合いをしなくてはなりません。

いずれ購入することになるのなら 早い方が 市民も安心出来。

また 市長を尊敬出来ます。

## 4 放射線量測定器を多数購入し

一般市民へのレンタルの開始もしくは無料測定の開始

※上記、採用がされた時期が早い市町村名を掲載。

県内でも採用している所があるかと思われます。

市内の送電線の地中化をする計画に 何億円もの予算をかけるなら  
放射能に怯える市民を守る為に使って欲しいとの声が 多数寄せられています。  
今、一番何を優先するべきか 市民の為に考えなければと思います。

すでに 多くの放射性物質が 拡散され  
体内被曝を防ぐことが 最重要課題だと思われます。  
もし 子供たちが死ぬようなことがあれば それは本当に許されないことであります。

**子育て環境日本一！**の袖ヶ浦市で安心して子育てがしたいと願っております。

出口市長を信頼し 投票した市民の為に さすが袖ヶ浦市は違う！  
と人々が集まってくるような市にしてください。  
(意見をお聞きした 多くの父母からの声です。)

どうか 市民の生の声を聴き。市民の為に 市政をお願い致します。  
千葉県でもっとも市民の声が聞こえる！  
一番熱心な市長さんになって下さい！  
私たちの安心は、市長の判断にかかっています。  
市長！どうかよろしくお願い致します。

上記にあげました件  
私たち市民グループ また沢山の父兄も協力を惜しみません。  
何か出来ることがあれば 協力させて下さい。  
市民の命に係わる重要なことですので 早急にご検討のほどお願い申し上げます。

以上回答をお願い致します。

袖ヶ浦市 子供たちと未来の会  
代表 佐藤えりこ  
袖ヶ浦市民が望む政策研究会  
代表 関 巖